

はじめに

近年、人口減少、少子高齢化に伴い、次世代の育成、社会保障のあり方、コミュニティの機能維持など、さまざまな問題が指摘されています。こうした中、社会経済情勢の変化に対応していくため、男女が互いにその人権を尊重しつつ、責任を分かち合い、性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現が重要かつ緊急の課題となっています。

本年は、男女共同参画社会基本法が公布・施行されてから10年になります。国においては、同法に基づき策定された「男女共同参画基本計画」により、総合的かつ計画的に取組が進められてきたところであり、現在「第三次男女共同参画基本計画」の策定に向けた検討が行われています。

三重県においても、平成12年に三重県男女共同参画推進条例を制定し、平成14年には「三重県男女共同参画基本計画」を策定するとともに、県の総合計画「県民しあわせプラン」の戦略計画においても「男女共同参画社会の実現」や「女性および高齢者のチャレンジ支援」を重要な施策として取組を進めているところです。

この「男女共同参画に関する県民意識と生活基礎調査」は、「第二次三重県男女共同参画基本計画」を策定するにあたり、その基礎資料とするために実施したものです。

調査結果をまとめるにあたっては、今回行った調査の集計および分析を行った報告書のほか、平成12年以降に行われた4回の「男女共同参画に関する県民意識と生活基礎調査」（うち2回は「男女共同参画に関する県民意識と生活実態調査」）の調査結果を時系列で比較分析し、男女共同参画に関する県民意識の推移と生活状況の変化を明らかにする基礎資料（別冊）も作成しました。

この調査結果が、県民の皆様にも幅広く活用され、男女共同参画社会の実現の一助になれば幸いです。

最後に、この調査の実施にあたりアンケートにご協力いただきました皆様から御礼申し上げます。

平成21年12月